

アシタのたかはま研究所



「私のまち・高浜市」と、自分のまちを一人称で語り、主体的に行動することが、まち全体の「心地よさ」となり、自分の行動に楽しさを感じ、誰かのため、地域のために役立っているという喜びを感じることで、自身の「心地よさ」、高浜市民の「幸せ」へとつながっていく。

1) 目的

アシタのたかはま研究所では、「住んでよかった」「いつまでも住み続けたい」と思える高浜市を創りあげていくため、**将来を見据えた政策課題を明らかにし、課題解決に向けた政策研究・実践**していくことで、高浜市に暮らす「心地よさ」を育み、さらには第6次高浜市総合計画後期基本計画の策定などに
つなげていきます。

2) 研究所概要

○設置背景

急速に進展する少子高齢化などを背景とする新たな問題の登場、財政難などを乗り越えていくため、今、地方自治体には政策力が求められています。他方で、増大する行政ニーズへの対応など様々な事情が、地方自治体の企画部門における政策立案を困難にしています。その状況を打破するためには、高浜市の将来に向け、潜在する課題を明らかにし、課題解決に向けた研究を行う「政策（企画）」に特化した組織が必要です。

○研究所で具体的に取り組むこと

①政策課題を明らかにする

◆研究成果・政策事例情報・統計データ等の**各種政策データを収集・分析・蓄積・発信**し、政策形成に必要となるデータを効果的かつ効率的に提供・活用できるようにする。

◆市が実施している事業を分野別や世代別など分野横断的に**受益者の視点**で分析し、中長期的な**政策課題を明らかに**していく。

②「心地よさ」について議論し、考えを深める

- ◆地域特性や財政状況等を踏まえ、中長期的な視点から「高浜市で暮らす日常の『心地よさ』」を実現するための「要因・原因」を探り、**実現に向けた政策について研究**する。
- ◆自分の心地よさだけでなく、他者を思いやり、地域全体の心地よさを高めていくため、**地域が何を**目指していくのかを**考えるきっかけを生み、議論し、深めていく場を創出**する。

③「こうしたい」を実践する

- ◆これまで築き上げてきた協働のカタチの一翼である「高浜市の未来を創る市民会議」を進化・発展し、市民・行政みずからが、もしくは市民と行政が協働して、「**自分たちのまちを“こうしたい”**」を実現していく。

3) 研究所の活動イメージ

思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま

